

KANSAI Univ. News

関西大学通信

2010年
2月15日
第373号

The first issue was published on June 19, 1969 and renewed on October 1, 2009.

■CAMPUS TOPICS

関西大学北陽中学校（設置認可申請中）の校舎竣工式を挙行

■就活生のみなさん！

「面接」対策は大丈夫？



一般入試、センター利用入試を実施

2月1日から8日まで、一般入試(学部個別日程・全学部日程)ならびにセンター利用入試(センター中期)の試験が本学(千里山キャンパス)をはじめ、全国各地に設置された試験会場において一斉に実施された。2月入試の合格者発表は2月16日(火)に行われる。

今年度は長引く景気の低迷から出願校数を絞り込む傾向がみられると言われている。こうした状況の中で、本学には、2月入試全体で78,166人の出願があり、昨年度と比較するとほぼ横ばいの志願者数であった。

なお、3月には一般入試(後期日程)、センター利用入試(センター後期)を実施する予定である。



試験会場に向かう受験生(千里山キャンパス)

関西大学北陽中学校(設置認可申請中)の校舎竣工式を挙

関西大学北陽中学校(設置認可申請中)の校舎が4月の開校予定を前に完成し、12月16日、竣工式を挙

行した。当日は上原理事長、楠見学長、鈴木北陽中学校校長就任予定者をはじめ、大学および工事関係者ほか約120人が出席し、校舎の完成を祝った。

校舎は、地上4階建て、延床面積約4,498.03平方メートルで、「自然を感じ、出会いと刺激にあふれる学びの空間づくり」をコンセプトに建設された。内部は高・中共有の事務室や中学校職員室をはじめ、普通教室、書道室、技術室、自習室、情報教室、実験室(理科室)などを有している。



テープカットの様子



北陽中学校(設置認可申請中)正門からの校舎の様子

関大ふくい笑い講を開催

1月17日、福井県のAOSSA(アオッサ)県民ホールにおいて、「第3回関大ふくい笑い講」が開催された。

これは、健康長寿の県と言われている同県と、「笑い測定機(aH)」の開発など、「笑い」について科学的に研究している本学との連携事業で、「笑い」と「健康」を楽しく考える機会とし

て親しまれている。

当日は雪が積もり寒さ厳しい中、500人以上の方々が登場し、社会学部の森下伸也教授をはじめ、落語家の林家笑丸氏や、病院で長期療養する子どもたちを訪ねるホスピタル・クラウンの活動で有名な大棟耕介氏によるパフォーマンス・講演が行われた。

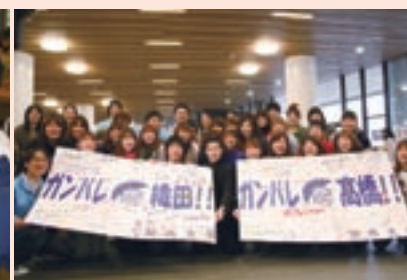


落語と演芸の様子

めざせメダル獲得! 学生みんなで横断幕を製作

2月8日、学生の有志約50人がバンクーバー五輪に出場する高橋大輔さんと織田信成さんの応援幕を作成した。この応援幕は19日(金)に本学で開催する応援会に掲げられるほか、現地へ応援に行く教職員ならびに学生が持参し、試合会場で掲げられる。

19日(金)の応援会ならびにバンクーバー五輪の様子は、次号で詳報する予定である。



受賞

中村将樹さんが第12回優秀研究発表賞を受賞

9月4日に日本大学船橋キャンパスで開催された「映像情報メディア学会立体映像技術研究会」において、中村将樹さん(理工学研究科M1)が第12回優秀研究発表賞を受賞し、12月16日に芝浦工業大学豊洲キャンパスで行われた贈呈式に出席した。

これは、ホログラム(3次元画像を記録した写真)の計算方法について、従来よりも効率的な

新しい計算方法を提案したことが評価され、表彰されたものである。

中村さんは「1年半研究に取り組み、試行錯誤したことが結果につながってよかった。多少複雑な内容だったが、工夫してまとめることで上手く伝えることができたのではないかと思います。今後はこの研究をより進展させ、論文執筆にも取り組んでいきたい」と抱負を語ってくれた。



優秀研究者発表賞を受賞した中村さん

フランス語暗唱大会で1位～4位を独占

12月12日に開催された第8回大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズ暗唱大会において、文学部生が1位～4位を独占するという快挙を成し遂げた。

この大会は近畿2府4県の大学・専門学校に在籍する学生など27人が参加。予選に勝ち残った17人は、課題文の一つ選択し、フランス語を暗唱するというルールのもとで決勝戦が行われた。

その結果、松本友希さん(2年次生)が優勝。準優勝

に林慧美さん(3年次生)。また叶本理沙さん(2年次生)と石川裕子さん(4年次生)がそれぞれ続いた。



RICO-YOKOYAMA Adriana 文学部准教授(写真中央)と受賞した文学部生

チャリティーフットサルを通じて社会貢献

法学部4年次生の嶋谷梨沙さんが代表を務める活動団体「COBALT(コバルト)」が1月30日にチャリティーフットサル大会を開催し、大会の収益金の一部をカンボジアで地雷撤去活動を行うNGO団体に寄付する。

大会当日は、ゲストによるパフォーマンスや、地雷廃絶活動家として活躍している柴田知佐氏の講演が行われ、パネル展示やフェアトレード学生団体のブースなどが設けられた。参加チームは大学生を中心に18チーム154人で、11チームが参加であった前回大会を大きく上回



「COBALT(コバルト)」メンバー(前列右から2番目が嶋谷さん)

る結果となった。

嶋谷さんは、「大会を通じて、タイやカンボジアでの地雷撤去に役に立つことができるということを多くの人に実感してもらいたい。スポーツを楽しむことが社会貢献のきっかけになるということに、一人でも多くの人に関心を持ってくれば嬉しい」と語ってくれた。

今宮戎の福むすめが本学を来訪

1月6日、今宮戎神社の福むすめである徐曉純(ジョーギョウジュン)さん(文学研究科M2)が関西大学を公式訪問した。

本学が今宮戎神社福むすめの公式訪問を受けるのは昨年に続いて2回目で、3年前から本学留学生が今宮戎神社の福むすめとして奉仕していることから実現したものである。

徐さんは上原理事長、楠見学長および森本相談役と新年の挨拶を交わした後、関西大学の益々の繁栄を祈念して、本年の干支である「寅」が描かれた額絵を上原理事長に授与した(写真)。

徐さんは、日本語で暗記した「うーちましょ」「もひとつせい」「祝うて三度で」と上方締めを披露し、福を振りまいた。



町田樹さんが4大陸フィギュアスケート選手権で準優勝

体育会アイススケート部の町田樹さん(文学部2年次生)が、1月27日～30日に韓国のチョンジュで開催されたフィギュアスケートの4大陸選手権男子シングルで2位となった。町田さんは昨年12月に行われた全日本選手権でも4位という結果を残しており、今後の活躍が大いに期待される。



併設校も活躍

攻撃サッカーで4強入り-憧れの国立舞台に

正月恒例の「第88回全国高校サッカー選手権大会」に10年ぶりに出場した関大ー高サッカー部は、初戦の鹿島高校に勝ち、大会初勝利を挙げると、その勢いによって準決勝まで勝ち進み、青森山田高校と対戦した。

試合は終了間際に2-2の同点に追いつき、PK戦にもつれ込む接戦となったが惜しくも敗戦。しかし、東京・国立競技場まで応援に駆けつけた約700人の生徒や父母らの前で、

最後の最後まで死力を尽くして闘った部員に対して、盛大な拍手が送られていた。

なお、1月14日に報告会が行われ、サッカー部員は、応援にかけつけてくれた生徒たちに感謝の気持ちを伝えていた。



報告会の模様



鹿島戦でPKを止めたゴールキーパーの櫻根啓人さん(2年生)

関大北陽高陸上競技部が全国高校駅伝に出場

12月20日、第60回全国高校駅伝競走大会が京都府・西京極陸上競技場付設コースで行われ、初出場の関大北陽高陸上競技部は2時間12分12秒で45位の成績を残した(写真)。悲願の全国大会の舞台で思うような結果を出せなかった選手らは、来年の活躍に向けて更なる飛躍を誓った。



KUカレンダー2/16-31

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
16日(火)	合同企業研究会スタート(～20日)	主に学部3年次生	キャリアセンター
19日(金)	バンクーバーオリンピック応援会	学生・教職員・一般	スポーツ振興課
20日(土)	竹中平蔵客員教授講演会	学生・教職員・一般	会計専門職大学院
	サタデー・カレッジ(ビジネス・心理)	学生・教職員・一般	地域連携センター
	人間活動理論研究センター国際ワークショップ(～23日)	学生・教職員・一般	研究所事務室
27日(土)	サタデー・カレッジ(心理)	学生・教職員・一般	地域連携センター

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。

就活生の
みなさん!

「面接」対策は大丈夫～?

3年次生・大学院1年次生は、いよいよ面接の本番直前!そこでキャリアセンターが、就職活動における「面接」の注意点を一挙紹介!1・2年次生のみなさんも、この機会に勉強してみましょう!

まずは第一印象から!

「多くの面接官が第一印象によって7～8割の判断をする」とも言われるくらい、第一印象は面接を左右する大事なもの。

ただし第一印象とは、「キレイ」「かっこいい」といった容姿ではない。緊張しても構わないので、あふれるような「ヤル気」を見せよう。

- 元気にハキハキと(×ボソボソと)
- 明るい表情で(×うつむいて)
- 面接官の顔を見て(×視線を泳がせて)
- 背筋を伸ばして(×猫背で)
- 清潔な身だしなみ(服装、髪型)(×派手なメイク・ボサボサ頭)

「面接」最低限のマナー

その建物に入った時から、あるいは最寄り駅から、「見られている」意識を持つ。もちろん、エレベータや控室でも気を抜かないように!



- 時間厳守(無断欠席などもってのほか!)
- コートは建物に入る前に脱いでおく
- 受付・面接室での挨拶は丁寧に(大学名・氏名を名乗る)
- 学生気分からの脱皮(何のための就活か?)

面接では何が聞かれる?どこが評価される?そのギモンの答えはこれだ!

✓面接=試験?

面接は、エントリーシートや筆記試験では判断できない人柄について、「直接」「対面して」知ろうとするもの。選考の段階に、筆記試験のない企業はあっても、面接のない企業はない。

面接は、点数評価するものではなく、「コミュニケーションの場」であると思おう。

✓つまり、面接とは

特別な場ではない。例えば、初対面の相手に対して「明るい人」「よくしゃべる人」等、みなさんも無意識に「面接」しているはず。そういった「普通感覚」に、「一緒に仕事をしたいと思えるかどうか」という判断が加わるものだ、とも言える。

✓では、何を聞かれ、どこを評価されるのか?

面接官は、様々な質問を投げかけ、みなさんの話し方などから、人柄・考え方・価値観などを、総合的に判断しようとしている。

よって、面接ではエントリーシートや履歴書をもとに、面接官がより詳しく見極めたい点・疑問に思った点などを質問される。

その根底にあるのは、「わが社に入ってもらいたい人物かどうか」。つまり面接に、「こうすればいい」という「正解」は存在しない。

✓よく聞かれるのは「志望動機」と「学生時代にがんばったこと」

この2つは重要だ。「志望動機」は、なぜその業界?→なぜその企業?→そこで何がしたい?→それはなぜ?…と、「なぜ?」の連鎖に答えられるようにしっかり考えよう。「学生時代にがんばったこと」は、何をしたかの経験や事実だけではなく、その過程で何を考え、どんな思いで行動し、何を学んだか、自分の中身を表現しよう。

✓とは言い、最低限の注意は必要

「面接は会話だ。自分の人物像を判断してもらうため、素の自分を見せればいい。」

これが面接に対する最高の考え方ではあるが、これを、「学生言葉で話しても良い」「学生だから許される」などと誤解してはいけない。

あくまでも、「一緒に働きたいと思えるかどうか」という社会人目線で見られるので、「丁寧に」「謙虚に」初対面の目上の人と接するような感覚を持つ。

★時事に敏感になろう

前述のように、就職活動では、社会人になろうとしている「心構え」が厳しくチェックされている。社会人としての心構えを身につける近道は、時事問題に関心を持つこと。日頃から、新聞を読み、テレビのニュースをチェックする習慣をつけよう。

就職活動を終えた4年次生からのアドバイス

気持ちは常に明るく、表情と笑顔を大切に!

面接は、相手(面接官)とのコミュニケーションであるということに大事に考えました。

就職活動が思うように進まない気持ちで落ち込みがちですが、面接では常にこの点を大事にしました。

とりわけ、「ノックの瞬間から自分は評価されている」と考えていたので、朝であれば入室の際に「おはようございます」と挨拶をし、入室の瞬間から退室するまで表情を常に意識し、笑顔で面接に臨みました。

面接はテクニックも大事かもしれませんが、気持ちの面や表情も大事なポイントであったと思

います。これから就職活動を本格的に進めていくみなさんも、コミュニケーションということを常に意識して面接に臨んでもらいたいですね。



田中 啓祐さん(経済学部4年次生) 政府系金融機関内定

Memo 面接での話し方

▶話す内容に「根拠」はありますか?
いくら立派な自己PRも、根拠が無ければ通用しない。「～のような気がします」「～だと思えます」といった曖昧な言い方はもってのほか。

▶「意欲」を表わせていますか?
面接では、「わが社に来る気があるかどうか」を見極めようとする。「入社したい!」という意欲をしっかりアピールしよう。

▶質問の「意図」を理解できていますか?
質問に対する外的な回答だと、「理解が曖昧なままで仕事をやるかも」と思われてしまう。質問の意図がわからなければ、再度意味を確認する、あるいは「わかりません」と素直に答えよう。

▶相手に「伝える」気持ちで話していますか?
きちんと話しているつもりでも、単なる自己満足になっていないだろうか。「相手に理解してもらいたい」という気持ちを持って話そう。